

全国大会の概要



協会名波登雄会長が、予防医学の更なる向上、普及によって健康寿命の延伸のお手伝いをし、幸せな人生を送っていただくことを願って、本大会のテーマを「幸せな人生を目指して」とし、たとあいさつを行った。開会式辞は予防医学事業中央会大谷藤郎理事長に代わり同会理事の東京都予防医学協会北川照男会長により行われた。大会開催の地元



「幸せな人生を目指して」を大会のテーマに第54回平成21年度予防医学事業推進全国大会が10月1日静岡市の静岡グランシップ中ホールで開催された。主催は(財)予防医学事業中央会、(財)日本寄生虫予防会、(財)静岡県予防医学協会。後援は厚生労働省、文部科学省、静岡県、静岡市、各種団体、報道機関等の55団体。大会には公募による一般県民、事業所の安全衛生担当者、小中高校の養護教諭、地域・保健団体等の関係者、行政機関、各

都府県予防医学協会等関係者など約800余名が参加した。最初に大会会長の静岡県予防医学

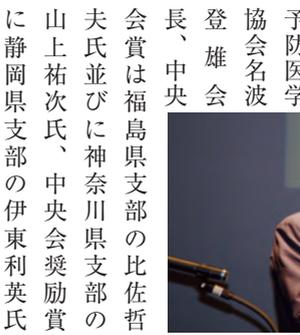


協会名波登雄会長が、予防医学の更なる向上、普及によって健康寿命の延伸のお手伝いをし、幸せな人生を送っていただくことを願って、本大会のテーマを「幸せな人生を目指して」とし、たとあいさつを行った。開会式辞は予防医学事業中央会大谷藤郎理事長に代わり同会理事の東京都予防医学協会北川照男会長により行われた。大会開催の地元



学術講演は県立静岡がんセンター総長山口建先生から「一人ひとりのがん対策」をテーマに行われた。

である幸せな人生を目指せるようご支援、ご協力を賜りたいとのメッセージがあった。長年予防医学運動の推進に寄与、功績のあった方々に感謝状を贈呈の表彰式が行われた。中央会感謝状は静岡県予防医学協会名波登雄会長、中央会賞は福島県支部の比佐哲夫氏並びに神奈川県支部の山上祐次氏、中央会奨励賞に静岡県支部の伊東利英氏はじめ31名の方々が授与された。



午後には法相宗大本山薬師寺執事の太谷徹英先生から「幸せの条件」よりよい人間関係のためにを演題に講話が行われた。最後に文化講演として、「自分の可能性を求めて」を演題に、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会アスリート委員会副委員長成田真由美先生から講演が行われ好評のうち閉会した。

けんこう静岡創刊100号を迎えて

―初心にかえって―



財団法人 静岡県予防医学協会
専務理事 石黒 満

「けんこう静岡」が創刊されたのは、昭和六十年四月一日であり、年四回の発刊なので、継続して二十五年間続いたということだ。

「祝発刊」として協賛いただいたのは、静岡県はじめ県医師会など十六団体の名前が並んでいます。

創刊号を見ると当時の当會長長川瀬利光の「発刊のことば」からはじまって、静岡県衛生部長松田朗先生、静岡県医師会長安井志郎先生、予防医学事業中央会理事長(元静岡県衛生部長)須川豊先生などの文が続き、懐かしい。

伊藤二郎副会長(現顧問)は「創刊にあたり」と題して昭和三十五年七月から昭和四十八年三月まで不定期に刊行されていた新聞形式の機関紙「寄生虫予防静岡」の第三十六号までを一区切りとして通覧し、寄生虫予防時代が終わったことを印象づけました。昭和四十八年以降は年一回の事業年報として冊子化した報告書を出すようになり、これは今に至っています。再び新聞形式として出し始めたのが昭和六十年という訳でした。

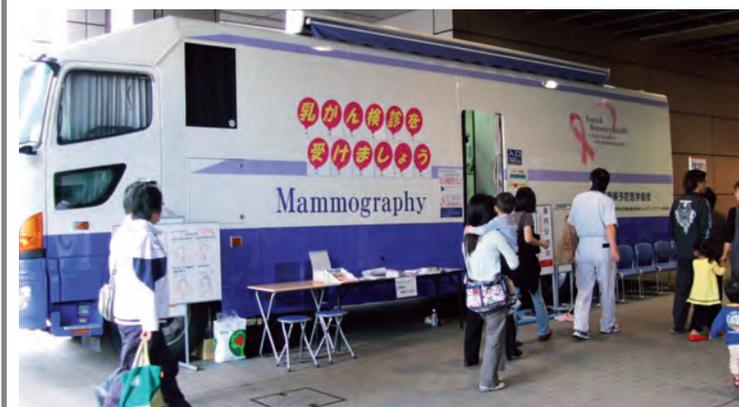
創刊号を含めた数回の内容をみると、その後の全てがわかると思います。学校保健に比重が大きかった私たちの仕事のありようは、その後の需要に応じた進展を示し、肺がん、食中毒、自殺、精神身体医学、糖尿病のことと、次第に編集内容にも反映されて発展してきました。

「地域保健について」の熱い一文を寄せてくれた当時二十五歳のキャリアをもつ藤枝市保健課一言正枝保健師、「学校保健について」として、検便、検尿、心電図検査(トレッドミル)へと展開してきた協会の取り組みに言及した県立大井川高校小椋山フジ子養護教諭、大関孝一保健所長会長の明治村北里研究所医学館の記事、その他心臓病や神経芽細胞腫についてのニュース記事が載っています。

初心忘れるべからず、という言葉があります。寄生虫予防運動も、予防医学運動も私達が携わっている仕事は、運動なのであって、機関紙はその重要な道具です。この機関紙を有効に活用して、協会と県民一人ひとりととの絆を今後とも更に強く結びたいと思います。より一層のご愛顧のほど宜しくお願いいたします。

創刊号にはこの仕事の全国的な指導者といえる当時予防医学事業中央会専務理事国井長次郎氏の「寄生虫予防・家族計画 インテグレーション」なる一文も載っていて、草の根の住民参加による運動の大切さを説かれています。

当協会元理事 望月 熿副氏ご逝去
当協会元理事の望月熿副氏は、かねてより病気で療養中のごとく、平成二十一年十一月三十日ご逝去されました。享年八十一歳でした。
氏は、昭和三十四年、静岡県寄生虫予防協会(現静岡県予防医学協会)設立時からの理事でありました。平成十九年以後は、顧問として協会の発展の為に意を注いでいただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



10月11日、12日の連休に静岡市駿河区のツインメッセ静岡に於いて静岡県国民健康保険団体連合会主催の「元気応援フェア2009」が開催されました。当協会も参加し、マンモグラフィー検診車の見学会を行いました。当日は多数の皆様に見学していただき、乳がん検診の必要性などをPRしました。

元気応援フェア
2009に参加